

平成28年1月21日（木）

第2回 石狩川滝川地区 水害タイムライン検討会

資料-1

「第1回検討会の成果・課題」



第1回検討会の概要

開催日時:平成27年11月26日(木)13:30~17:00

開催会場:たきかわ文化センター 小ホール

議事内容: ■ 講演「滝川地区の流域特性と水害について」

■ タイムラインのシナリオの共有

■ ワークショップ

- ・どんな被害が想定されるか
- ・何をすべきか
- ・どんな課題があるか



第1回検討会 アンケートについて

第1回検討会のアンケート結果

【ハザードに対するご質問】

ハザードマップは、公式に公開されており、かつ被害想定もより大きいいため、最悪を想定して対策を検討するのであれば、自治体ハザードマップに基づいて検討してもよかったですのではないかと。

【回答】

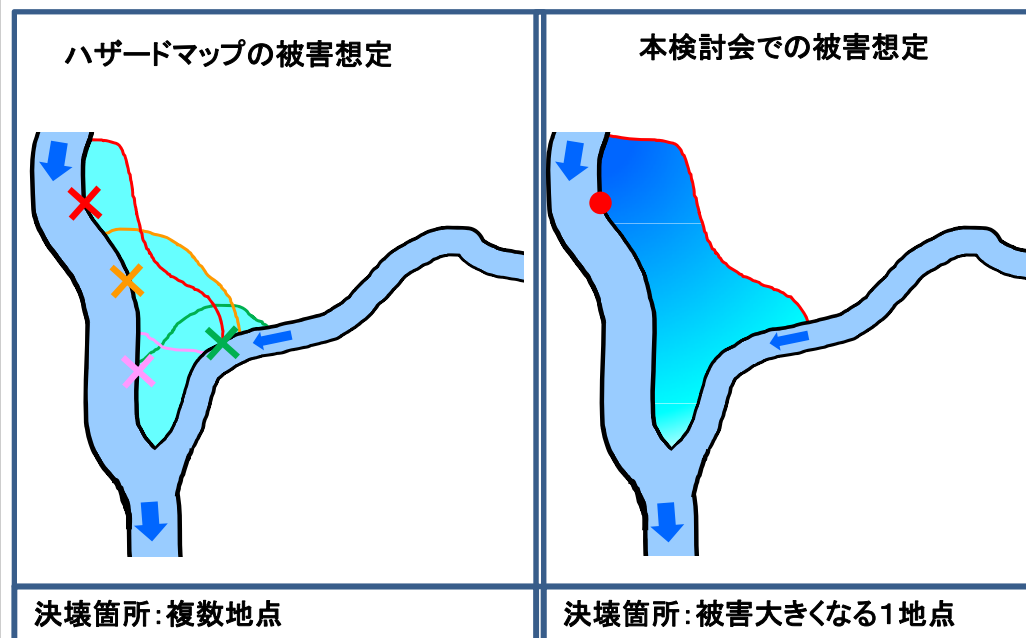
・ハザードマップは、堤防決壊が想定される複数の地点を設定し、各地点毎に決壊した場合の浸水域を重ねて、表示したものです。

・浸水する可能性のある範囲を包括した最大浸水域・浸水深を示しており、時間変化は含んでいません。

・避難場所や円滑・迅速な避難のために必要な事項などが記載されており、住民の的確な避難行動に資するものです。

・本検討会では、実際の洪水発生時を想定し、浸水状況の時間変化等を考慮した防災行動計画を構築することを目的としています。

・このため、堤防決壊地点は被害が大きくなる1地点とし、想定しえる最大の降雨を用いることにより、被害がより大きくなる状況を想定しています。



第1回検討会のアンケート結果

【用語に関するご質問】

現地視察の際の説明で、河川の構造等の説明が口頭でされましたが、「天端、丘陵堤、高水敷」など、専門的名称の図解説明したペーパーが欲しい。

【回答】

- ・参考資料集の23～26頁に、本検討会でもよく使用する用語を整理しました。
- ・その他にも、分からない用語などがあれば、ご質問ください。

第1回検討会の成果

抽出された意見の活用

第1回検討会での貴重なご意見
ありがとうございました。

抽出された意見の活用

第1回検討会ワーキング

「何をすべきか？」に対する意見

想定被害に対して、自らや所属する機関や個人が行う防災行動項目

意見の活用

●ワークショップの「到達目標」や「行動項目」

●ワークショップの作業の資料

●タイムライン作成時の「行動項目」「細目」

●ワークショップの議論グループ再構成

抽出された意見の活用

多くの回答

別紙 参考資料集の4～7頁の

「②何をすべきか」

に列挙しました

抽出された意見の活用

第1回検討会ワーキング

「どんな課題（支障）があるのか？」に対する意見
防災行動を実践するときに懸念される支障や課題

意見の活用

●テーブルワーク「到達目標」や「行動項目」

●テーブルワーク作業の資料

●タイムライン作成時の「行動項目」「細目」

●ワークショップの議論グループ再構成

ワークショップで抽出された課題

市民安全対策グループ (19課題)

- ・交通麻痺による臨場時間のロスの発生【警察・消防】
- ・業者による復旧の遅れ・困難
- ・緊急車両の運行不能
- ・避難する際の交通手段が確保できない
- ・医療スタッフをどう確保するか【病院】
- ・浸水により職員の集合が思うように進まない
- ・現場対応人員の不足
- ・施設の再移転先の確保が困難、又は機能が限定的
- ・消防機能の移動のタイミング【消防】
- ・市立病院の機能をどう維持するか【病院】
- ・入院患者をどうするか(現状、移動、輸送)【病院】
- ・避難場所も危険になっている可能性がある
- ・夜遅い時間であると、避難所管理者と連絡が取れない可能性
- ・避難してきた方の対応がスムーズにできるか
- ・備蓄庫から毛布を運び出す車の確保
- ・地区内の体の不自由な方の移動をいかにするか
- ・携帯電話を持たない方、近くに協力者がいない方への対応
- ・防災会として避難・待機の判断を速やかにできるか
- ・支援を拒否する方(情報提供の拒否)への対応

交通運輸対策グループ (14課題)

- ・市民の避難行動に支障が出る
- ・国道、道道、市町村道の管理者と、迂回路設定の情報共有ができるか
- ・緊急輸送路の確保
- ・精度の高い降雨予測が必要
- ・想定する規模の程度を把握すること
- ・通行止めを行う時のバリケード等の部材、現地で立ち会いする誘導員等の人員、それらを運搬する車両を速やかに準備できるか。
- ・通行止め等の業務や業者自身の避難により、道路施設の応急措置や修繕に取り掛かれないのではないか。
- ・お客様案内(運行関係)
- ・連絡手段(電話等)が使用可能か
- ・日頃から報・連・相がうまくいっているか
- ・社員間での情報共有
- ・職員の避難のタイミングをいつにするか
- ・社員の安全確保

意味が同じ課題は、1つにまとめています。

ワークショップで抽出された課題

防災基盤対策グループ(22課題)

- ・自治体災害対策本部まで連絡員が駆け付けできない。
- ・広範囲になる場合のパトロール人員不足
- ・震災箇所の復旧に必要な重機、ダンプの通行が可能か
- ・通信関係が遮断された場合、情報提供ができない
- ・浸水の影響で水が引いた後すぐに設備を利用できないことが懸念される
- ・通行止めにより、停電復旧作業ができない
- ・道路及び施工範囲が水没していると復旧は出来ない【滝川ガス】
- ・ライフライン(下水)が停止する時間を予測しておくこと【振興局】
- ・浸水、通行止めにより駆け付け不可【NTT】
- ・現地まで通行止などで駆け付けできず、通信設備の非常用電源が枯渇する恐れがある【NTT】
- ・復旧現場の安全が確保されるまで、復旧作業員が駆け付けできない【NTT】
- ・水防板を設置・設営するタイミング(時期)がわからない
- ・水位周知河川については、システムが復旧するまで現地に24時間張り付いて実測しなければならず、その要員を確保する必要がある【振興局】
- ・多数の避難所へ、同時に通信手段を確保するには限界がある【NTT】
- ・樋門管ゲートの機械的不都合発生。流木等がはさまることによる全閉不全【滝川河川】
- ・樋門管等操作員の不在・連絡不通【札建】
- ・応急対応について、予算面の消耗
- ・自家発電を動かす燃料を確保するためのルートが通行止めになる【札建】
- ・目的地までの通行可能な移動経路の確保【滝川河川】
- ・被害状況報告を作成するに当たり、同時多発的に複数箇所で発生すると、人員的な体制から適時適切な報告ができなくなる可能性がある【振興局】
- ・自衛隊に対するニーズの明確化
- ・農業用水路の断水するまで10時間以上かかってしまう【土地改良区】

防災情報・意思決定グループ (15課題)

- ・応急対応が各地で集中し手がまわらない
- ・河川の水位等の情報が迅速に市町村に伝わるか
- ・水位局が不能となった場合、防災機関は避難勧告や解除などの判断が遅れる
- ・被害状況(規模)によっては、資材調達が困難な可能性あり
- ・パトロールする河川が多くなった場合、パトロール業者の不足が懸念される
- ・庁舎への浸水(電気室)
- ・庁舎停電に伴い電気・通信が使用できなくなる
- ・滝川市役所所水没時における洪水予報文等、受信、伝達方法
- ・トイレが使えない
- ・避難行動が制限される。
- ・浸水情報伝達が末端の住民まで行かない 逃げおくれ
- ・要配慮者が避難できない(車両通行できないため)
- ・避難情報等の見落とし
- ・被害状況を確認する際、夜間や河川水位が下がっていないと危険であり、状況把握に遅れが生じる。
- ・決壊地点まで資材運搬ルートの安全確保の困難が予想される。
- ・増水時には、河川管理施設を操作する人や被害状況を確認する人への安全確保も必要である。

意味が同じ課題は、1つにまとめています。

抽出された課題

課題の整理

- ・同じような内容のもの
- ・グループによらず整理

抽出された課題の整理

一般市民の避難

- ・支援を拒否する方(情報提供の拒否)への対応
- ・防災会として避難・待機の判断を速やかにできるか
- ・携帯電話を持たない方、近くに協力者がいない方への対応
- ・浸水情報伝達が末端の住民まで行かない～そのため逃げおくれ

災害時要配慮者の避難

- ・地区内の体の不自由な方の移動をいかにするか
- ・入院患者をどうするか(現状、移動、輸送)【病院】
- ・要配慮者が避難できない(車両通行できないため)

職員の安全確保

- ・浸水により職員の集合が思うように進まない
- ・現場対応人員の不足
- ・職員の避難のタイミングをいつにするか
- ・被害状況を確認する際、夜間や河川水位が下がっていないと危険であり、状況把握に遅れが生じる。

交通規制・運行停止

- ・市民の避難行動に支障が出る
- ・自治体災害対策本部まで連絡員が駆け付けできない。
- ・通行止めにより、停電復旧作業ができない
- ・現地まで通行止などで駆け付けできず、通信設備の非常用電源が枯渇する恐れがある【NTT】
- ・自家発電を動かす燃料を確保するためのルートが通行止めになる【札建】

迂回路、緊急輸送路、代替交通の確保

- ・緊急車両の運行不能
- ・避難する際の交通手段が確保できない
- ・国道、道道、市町村道の管理者と、迂回路設定の情報共有ができるか
- ・通行止めを行う時のバリケード等の部材、現地で立ち会いする誘導員等の人員、それらを運搬する車両を速やかに準備できるか。

機能停止時の代替手段の確保

- ・通信関係が遮断された場合、情報提供ができない

ライフライン被災時の応急措置、復旧

- ・通行止め等の業務や業者自身の避難により、道路施設の応急措置や修繕に取り掛かれないのではないか。
- ・震災箇所の復旧に必要な重機、ダンプの通行が可能か
- ・浸水の影響で水が引いた後すぐに設備を利用できないことが懸念される
- ・道路及び施工範囲が水没していると復旧は出来ない【滝川ガス】

災害対策本部の設置

- ・庁舎への浸水(電気室)
- ・滝川市役所水没時における洪水予報文等、受信、伝達方法

避難勧告の発令

- ・河川の水位等の情報が迅速に市町村に伝わるか
- ・水位局が不能となった場合、防災機関は避難勧告や解除などの判断が遅れる

施設の浸水対策の実施

- ・市立病院の機能をどう維持するか【病院】
- ・樋門管ゲートの機械的不都合発生
- ・流木等がはさまることによる全閉不全【滝川河川】

避難所の開設・運営

- ・避難してきた方の対応がスムーズにできるか
- ・夜遅い時間であると、避難所管理者と連絡が取れない可能性あり
- ・多数の避難所へ、同時に通信手段を確保するには限界がある

抽出された課題の活用

第1回検討会ワーキング

「どんな課題（支障）があるのか？」に対する意見
防災行動を実践するときに懸念される支障や課題

意見の活用

● テーブルワーク「到達目標」や「行動項目」

● テーブルワーク作業の資料

● タイムライン作成時の「行動項目」「細目」

● ワークショップの議論グループ再構成

ワークショップのグループの再構成

ワーキング・グループの再編成

目標：住民及び防災対応者の確実な安全確保

